

群馬県立沼田高等学校(定時制課程)学校評価一覧表(令和6年度版)

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・1日研修旅行やクラスマッチなど特色ある行事等の特別活動や部活動を充実させ、生徒の諸活動の活性化を図る。「総合的な探究の時間」の活動を通じ、社会との結びつきや職業観の獲得の重要性への理解を促す。 ・学級活動、学校行事、部活動等を通して、生徒が自己有用感を高められるよう、生徒が主体的に課題解決に取り組める教育活動を継続的に推進していく。 ・説明会等を通して、生徒・保護者に三修制に対する理解を促す。また、学校に軸足を置いた生活習慣の確立を継続的に指導し、保護者とも協力しながら、長欠者・退学者を出さない環境づくりに努める。
		② 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業がわかりやすく、授業によって学力が身についている」と思う生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力」のバランスを意識した授業を行い、基礎基本の定着と主体的・対話的で深い学びの両立のための授業改善に組織的・計画的に取り組む。また、個別指導や長期休業中の補習等を充実させ、生徒の個性や個別最適な学びを意識した指導を進める。 ・保護者との連絡・相談を密にして家庭での協力を得ながら、個別指導や補習を通して、個々の生徒の実態に即した指導を継続する。
		⑤ 成績不振者は全生徒の5%以下である。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥ 生徒に関する情報交換を週1回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な対応を前提として、情報交換による共通理解が日常的に行われる、風通しの良い職場環境の整備を進める。 ・対面式、クラスマッチ、校内発表会等を中心に、生徒会役員と全校生徒による主体的な生徒会活動が行われるよう、継続的に、支援・助言を行う。
		⑦ 生徒会活動が充実していると考える生徒が80%以上である。	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑧ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的ないじめアンケートに加え、普段から教職員一人一人が生徒の状況をよく観察し、積極的に声かけを行い、組織として情報共有することで、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめの未然防止と解消に継続的に取り組む。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑩ 進路通信等を月1回以上発行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年から進路意識の向上・職業観の育成のための組織的・計画的な指導を実施する。進路通信「船出」を計画的に発行し、地域との連携も継続していく。 ・学校からの配布物が保護者に届くように連絡を徹底するとともに、面談等を通して進路に関する家庭内での話し合いを促す。生徒と保護者が共通理解の中で進路実現に進んでいけるように支援をしていく。 ・勤労青年の学びの場としての定時制の理念に基づき、ハローワーク等の外部機関との連携を図りながら、生徒の社会性や自己肯定感の育成のためにも継続して就業体験を支援する。アルバイトだけでなく、インターンシップを実施していく。
		⑪ 家庭での話し合いを促し、生徒の進路希望について理解している保護者が80%以上である。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑬ 学校便り等(5:30新聞及び5:30新聞ミニ二を含む)を月1回以上発行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回発行の「5:30新聞」や毎月発行の「5:30新聞ミニ二」、進路通信「船出」等の発行を通して、本校定時制の教育活動について、保護者・地域へ理解を求める。また、本校定時制ブログの更新を月2回程度行い、定時制教育の魅力を発信する。 ・全日制と連携しながら、定時制のホームページを適宜更新し、より一層の情報発信に努める。また、必要に応じて、ホームページのレイアウト等を、より見やすい形に工夫していく。 ・保護者面談、公開授業に加え、学校見学の随時受入を必要に応じて行う。また、本校定時制の広報に努め、中学校訪問も随時実施する。
		⑭ ホームページの更新を毎月実施する。	
		⑮ 保護者面談の他、公開授業を年間2回以上実施する。	
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ ICTを活用した教育活動に80%以上の生徒が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器やWeb端末を活用した授業展開や学校行事等におけるICT機器の活用を進める。生徒の情報機器の活用力を高めるとともに、情報リテラシーの向上を促す。 ・対面・電話に加え、Web端末やオクリンジャー等の連絡ツールを活用することで、通知・連絡を密に行い、生徒・保護者との信頼関係を強くしていく。
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	